

No. 20

2015年 3月



第70回国民体育大会
平成27年9月26日(土)~10月6日(火)



串本町

議会だより

紙面紹介

表紙は、県内で行われた防災訓練

9月12月議会の概要	P2~3
トルコ・オーストラリア訪問報告	P4~5
一般質問に12人	P6~11
特別委員会報告 議会研修	P12~14
常任委員会報告	P15
議会の動き・編集後記	P16

政府の地震調査委員会
南海トラフ沿いで今後30年以内に
マグニチュード8以上の巨大地震
が起きる可能性は60%から70%
防災対策で大幅な被害軽減はできる!!
和歌山県発表串本町人的被害予測
東海・南海・東南海地震 2,000人
南海トラフ巨大地震 8,200人
死者数を10年間で8割減らす!!

和歌山県警と自衛隊のバイク隊
トライアルバイクにより被害情報を収集



近畿・中部地方から災害時対応
の特殊消防車が串本に集合



垂直離着陸輸送機オスプレイ
災害派遣医療チーム(DMAT)や飲料水などの物資を乗せて、望楼(ぼうろう)の芝に搬送



津波後に必ず起きる海上火災の消火訓練



オスプレイに負傷者を搭乗させ、沖に停泊した海上自衛隊の護衛艦「いせ」に搬送

消防・警察・自衛隊による

倒壊家屋・漂流者捜索訓練



近くに避難場所がない場合にシェルターの役割を果たす「津波救命艇」の曳航訓練
参加した救命艇は「浸水しても沈まないよう設計されており、安全性(国のガイドライン)も確保されています」 和歌山市西浜 主催 国交省 県



12月定例議会の概要

平成26年第4回定例会は提案された案件は、当局から財産区管理委員の選任案件2件、字の変更案件1件、規約の変更案件1件、路線認定案件1件、条例案件6件、補正予算案件7件、決算審査特別委員会に付託された平成25年度の一般会計、特別会計の決算認定など、すべて原案通り可決または認定されました。

議案第145号

串本町職員の給与に関する条例の一部改正は、人事院勧告のとおり可決されました。



前地町営住宅建設予定地

議案第151号

一般会計補正予算

地籍調査事業費1,106万6千円、障害児通所支援費

788万6千円、前地町営住宅建替事業2億3,536万5千円などについて審議。

原案通り可決されました。

議案第119号～137号

平成25年度決算の認定について

決算審査特別委員会に付託されていた平成25年度の一般会計、各特別会計の決算について委員会の報告を受けてすべて認定されました。



議案第158号

国民健康保険税条例の一部改正について

一般会計からの繰入金をなくし単年度の収入不足額が2億円弱となっており3ヶ年で見直すため単年度約7,000万円値上げしたいと当局より提案

水口議員より、社会保障の重要な課題であり、医療費の抑制策や滞納の具体策が見えてこない中で12月議会に結論を急ぐことはない。委員会付託し議論を尽くすべきであると動議が出されました。

賛成 水口・川勝・漆畠・仲江

反対 鈴木・濱田・佐藤・長脊・寺町・橋爪・沼谷・芝山・結城

結果、委員会付託は否決されました。

主な討論内容

仲江 反対 低所得者の多い国保の税率を上げるのは、財政の都合を住民の暮らし、福祉より優先する姿勢だ。

結城 賛成 今後2年間の税率改正について担保するものではないが、国保会計の調整をはかるもので、やむを得ない。

漆畠 反対 低所得者に厳しい改正、弱い立場の人を守るのが政治、福祉政策上反対。

鈴木 賛成 税の値上げは誰もが望んでいないが、受益者負担は逃れられない。今改正は、赤字解消負担分、保険者が県に移行する前提と理解する。

川勝 反対 29年までの計画内容を整えるべき。

沼谷 賛成 住民説明会で反対の声はなかった。

水口 反対 議論をつくすこと、結論のみを急ぐことには反対。

賛成 結城・鈴木・沼谷・濱田・佐藤・長脊・寺町・橋爪・芝山

反対 仲江・漆畠・川勝・水口

結果、国民健康保険税条例の一部改正は採決になり原案通り可決されました。

9月定例議会の概要

平成26年第3回定例会は、9月10日(水)～9月19日(金)までの日程で開催されました。

案件は、報告2件、人事案件3件、条例案件4件、補正予算案件3件、決算認定案件19件、その他2件、追加案件3件(町道認定、一般会計補正、意見書提出)の審議が行われました。

主な議案と説明

○子ども・子育て支援法の改正に伴う条例整備

給付制度創設関係条例、家庭的保育事業認可基準、放課後児童健全育成等基準関係条例整備

○串本町更新住宅条例の一部改正

前地町営住宅20戸建設に伴う改正

○町道の路線認定(国道上浦～図書館上造成地)

西の岡線 串本字大洞生667番地1～715番地 実延長333.40m、幅員4.00m～11.60m 新認定

○「手話言語法」制定を求める意見書

手話が音声言語であることを広く国民に広めるよう「手話言語法(仮称)」を制定するよう国に求める意見書…団体から要請のあったもの

提出者 沼谷美次 賛成者 仲江孝丸 全員一致で可決

○決算認定案件19件は、決算審査特別委員会へ付託されました。



平成26年度一般会計補正予算(第4号)

第4号補正により今年度の一般会計の総額は108億198万8千円となりました。

〈追加された主な事業

単位:千円)

ふるさと町づくり寄付者謝礼	5,250	観光地公衆トイレ洋式化	7,970
避難所避難路整備	1,300	西の岡避難路整備	93,370
日ト友好125周年準備	1,782	菖蒲谷3号線道路整備	4,000
町税過誤納金返還金	9,987	橋梁修繕設計	8,500
隣保館センター改修	1,361	前地町営住宅建設	79,700
子育て支援センター委託料	600	(用地造成 39,800) (配水管新設 38,900)	
予防接種委託料	9,464	小・中学校教育振興	1,600
新築住宅用太陽光発電補助	2,500	学校給食センター建設	806,926
街路灯LED化補助	7,716	(設計 9,958) (建設 796,968)	
日ト友好記念グッズ購入代	1,000		
道路災害復旧	4,200		



〈歳入 単位:千円〉

○地方交付税	85,173
○国庫支出金	125,468
○県支出金	9,124
○基金繰入金	303,958
○雑入	688
○町債(借入金)	535,407
合 計	1,059,818



平成26年木曜島訪問

真珠貝ダイバーの眠る島 木曜島へ

串本町議会 副議長 結城 力

平成26年10月20日から5日間の日程で、木曜島墓参と3年前に調印したトレス市との友好都市締結の返礼のため、木曜島を訪問することになりました。議会から私がその一員として派遣される事になりました。

詳しい内容は、町広報12月号に掲載されましたので、議会広報では私の視点から木曜島訪問をご紹介したいと思います。



串本から20時間の長旅の末訪れた木曜島は、トルコブルー(青緑色)の美しい海に囲まれ、海からは常時風速20m位の風が吹いて来る、風の強さが印象的な小さな島でした。

夜、私たちの宿泊したモーテルは、道路を隔てて海沿いに位置していましたので、2階の私の部屋は風のビュー・ビューと吹き渡る音が強く、なかなか眠りにくくことが出来ませんでした。



微睡(まどろみ)の中で、海から吹いてくる強い風の音は、若くして命を落とした真珠貝ダイバーの望郷の叫びのように思えました。

過密な日程の中で、日本人墓地に眠る真珠貝ダイバー鎮魂のための慰靈祭とトレス市との友好親善の行事もつがなく執り行われ、当初の木曜島訪問の目的は達せられました。



私は、今回の訪問に2つの課題を持って木曜島を訪れました。それは、故和田良太議員が7年前の木曜島墓参で持ち帰った課題を引き継ぐものでした。

1つは、木曜島の主要な産業である伊勢エビ漁は素潜りで行っており、カニ籠(かご)が漁獲量の増加に貢献できるのは、という事でした。それで、荷物になりましたが日本からカニ籠を持参しました。私自身が試して効果を確認したかったのですが、公式行事の日程が詰まった中では時間がなく、現地の人に預けて使ってもらう事になりました。

もう1つは、潮岬にある「潮風の休憩所」(木曜島真珠貝採取の資料が展示されている。)に木曜島の物産・物品の販売コーナーを設けて、その収益で日本人墓地の維持・管理に充てる事ができるのでは、という事でした。そのための、物産・物品探しの訪問でもありました。

しかし、木曜島の諸物価は高く、時間の許す限り探しましたが、小さな真珠貝の飾り物でも2千円以上もして、適切な物産・物品を見つけることが出来ませんでした。

時間の制約と私の言語力の不足もあり、私の抱えていた課題は実現することなく、今回の訪問を終えることになりました。

今回の木曜島訪問で何か1つでも、将来に繋がるものがあればと考えておりましたところ、仏教の僧侶であるブリスベン在住のウイルソン氏から木曜島で毎年お盆の行事をしたいので、提灯や団扇(うちわ)、垂れ幕を協力して欲しいとの依頼がありました。

風が提灯などを吹き飛ばす心配がありましたので、スティーブン市長に確認しますと大丈夫とのことでした。

田嶋町長も、木曜島に眠る日本人ダイバーの慰靈が毎年お盆に行われる事、また木曜島在住の日本人の皆さんに日本へのアイデンティティーを保ち続ける有意義な行事であると判断し賛意を示しました。

(*12月議会でふるさと納税の寄付金から23万円の予算措置がされました。)

これから毎年、木曜島でお盆の行事が行われることになります。



結びに、木曜島真珠貝採取事業は、明治初期から太平洋戦争後まで私たちの地域社会に大きな関わりのある事業でした。その中で多くの若い命が、はるか南の海域で事故や病気で奪われました。

今回の木曜島訪問は、先人の事績を風化させない、再確認のための訪問でもありました。

木曜島に眠る若き日本人ダイバーの御靈の安らかならんことを念じて。

平成26年トルコ訪問

トルコ共和国訪問 串本町議会議長 梅野光児

平成26年9月28日から10月3日にかけて、田嶋町長、役場職員とともに、日本トルコ合作映画製作の合意と姉妹都市であるメルシン市の大市長への表敬訪問のため、トルコ共和国を訪問しました。



9月29日、メルシン市に到着後、海岸沿いにあるエルトゥールル号慰靈碑において開催された追悼式典に出席。エルトゥールル号の事故で亡くなられた殉難将士に対し黙祷を捧げ、御靈を弔いました。

式典には数百人の参列者と音楽隊、報道関係者がおり、トルコ共和国におけるエルトゥールル号の注目度の高さを知ることができました。

式典後には、平成26年3月に就任されたブルハネッティン・コジャマズ大メルシン市長を表敬訪問し、今後の姉妹都市の関係などについて意見交換を実施してまいりました。

映画製作については、9月30日に田中光敏監督にも同席いただき、横井裕駐トルコ日本国大使を表敬訪問。

映画製作に支援していただいている横井大使に近況の報告をいたしました。

また、10月1日には、文化観光省映画局、ジャム局長といい田嶋町長、田中監督、横井大使を交え映画製作について合意し、映画製作の発表を行いました。



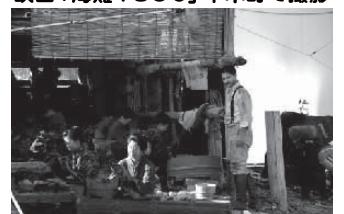
その後、トルコ海軍司令部を訪れ、ボスタンオール海軍大将を表敬し、映画製作に関してトルコ海軍の協力を依頼してまいりました。海軍大将からは「最大限の協力をします。」という心強い回答をいただきました。

今回の訪問でトルコの方々は素晴らしい歓迎をしていただき、日本とトルコの友好を再確認するとともに、映画製作に関する期待を強く感じました。

これからの両国の関係のさらなる飛躍のために映画製作に串本町が一丸となって尽力していきましょう。



映画「海難1890」串本町で撮影



一般質問

- ①防災まちづくり②補助金の支出し③ジオサイトの活用と世界ジオパークめざす取組み④戦した。

12月議会では



9月議会では



仲江 孝丸

- ①ビキニ事件が現代の世に問う
②基地の町の歴史について
③公契約条例の制定にむけての
3項目を質問。
- ビキニ事件が起きて60年が過ぎた今もマーシャルでは放射能汚染に苦しめられている現状や、福島の放射能汚染、トルコの原発輸出など、福竜丸ゆかりの地として核問題を考える必要を提起しました。また大島の米軍基地反対闘争の歴史を紹介し、沖縄の現状に心を寄せるよう質しました。

争をする国にしないために4項目を質問。

町が補助金を交付している団体に対するチェックに関し、部落解放同盟への補助金の大部 分が飲食と日当に使われ、しかも領収書の発行と受領が同一人物のものが大半であることなど、不適切な経理を指摘して、補助金の打ち切りを求めました。執行部は今年も「今後改めさせて」との答弁で、引き続ぎ解同への補助金を継続する意向です。

また、全国的なハイスピーチの蔓延とその影響を指摘し、国際交流で信頼関係を築くことが戦争の抑止となることを提起。町長も民間交流で地域が恩恵を受けると答弁しました。

（7）平成27年3月1日発行

くしもと町議会だより

第20号

一般質問

○財政計画について

平成34年度基本的収入は、平成34年度合併初年度に対し、6億1,379万円減少する計画です。平成31年度の基金を差引いた借金が、平成17年より約33億円多くなつており、借金が増えて収入が減少すれば家計が苦しくなります。人件費、扶助費、公債費の義務的経費が平成34年度は平成17年に對し3億6,400万増えており、単年度で減らすのがむずかしい経費が増えるのは財政の硬直化をまねくものです。これらを考えれば計画している事業を選択し安易に借金に頼らず、補助金の獲得により実行するか、断念するかにより健全財政をめざすべきです。

一般質問



塗畠 繁生



○火葬場への委託について

火葬場は老朽化しており建替か委託かですが、このさい古座川町に委託するほうが財政的有利です。過去串本町の維持管理費が4年間の年平均が1,400万円となつてします。火葬料收入が約400万円、維持管理費を差引くと11,000万円の赤字になります。串本町単独で建設すると約3億円になり、年間の火葬350体とした時古座川町に1体5万円で委託し、この内町が1体4万円補助した場合1,400万円です。現在より400万の支出が増える事になりますが建設費約3億円を考えれば75年分になります。串本町にとって現状の責任がますます大きいたいと思います。

古座川町への委託について

火葬場は老朽化しており建替か委託かですが、このさい古座川町に委託するほうが財政的有利です。過去串本町の維持管理費が4年間の年平均が1,400万円となつてします。火葬料收入が約400万円、維持管理費を差引くと11,000万円の赤字になります。串本町単独で建設すると約3億円になり、年間の火葬350体とした時古座川町に1体5万円で委託し、この内町が1体4万円補助した場合1,400万円です。現在より400万の支出が増える事になりますが建設費約3億円を考えれば75年分になります。串本町にとって現状の責任がますます大きいたいと思います。



濱田 勝裕

濱田…大雨により流木が流れてしまい、町道が崩落する現状です。土砂が噴き出側の道路が認定出側の擁壁が噴き出しています。町道が崩落すると車両通行止めになりますがどう対処するのでしょうか？

町長…目視できない部分があります。ボーリング等を行つて現状の把握に努めていきたいたいと思います。

濱田…大雨により流木が流れてしまい、町道が動いて先に流れ込む上げながら、橋杭海水浴場は8月いっぱいのになぜ取り除かないのか？

町長…車両通行止めになります。なぜなら、海水浴場にはななりませんので、お金を使わせて、今までいるところであつたので、あります。なぜなら、海水浴場にはななりませんので、お金を使わせて、今までいるところであつたので、あります。

濱田…11月1日の防災訓練が中止になりました。大雨の為に中止になりました。雨天の訓練も必要なものになります。町長…あの状況で実施して、何かがをしたりすると、行政はなぜあいつた状況の中で避難訓練をしたのかとの論調になります。

濱田…勉強、スポーツ、芸術、音楽等なんでもいいので、本の名前を高めてくれる人材輩出する必要があると思いますがどうでしょうか？

教育長…全くその通りだと思います。子どもが持つてゐる力を伸ばしていくのは大事なことです。



鈴木 幸夫

9月議会の一般質問

〔若者に魅力あるまちづくり〕

をめざして

12月議会一般質問

合併10年を迎えるにあたつて課題(合併10年の総括(評価)とまちづくり計画の進捗状況)(2)今後の重点的に取り組む人口減社会の対応…

（7）平成27年3月1日発行

くしもと町議会だより

第20号

一般質問

○火葬場への委託について

火葬場は老朽化しており建替か委託かですが、このさい古座川町に委託するほうが財政的有利です。過去串本町の維持管理費が4年間の年平均が1,400万円となつてします。火葬料收入が約400万円、維持管理費を差引くと11,000万円の赤字になります。串本町単独で建設すると約3億円になり、年間の火葬350体とした時古座川町に1体5万円で委託し、この内町が1体4万円補助した場合1,400万円です。現在より400万の支出が増える事になりますが建設費約3億円を考えれば75年分になります。串本町にとって現状の責任がますます大きいたいと思います。

濱田…大雨により流木が流れてしまい、町道が動いて先に流れ込む上げながら、橋杭海水浴場は8月いっぱいのになぜ取り除かないのか？

町長…車両通行止めになります。なぜなら、海水浴場にはななりませんので、お金を使わせて、今までいるところであつたので、あります。なぜなら、海水浴場にはななりませんので、お金を使わせて、今までいるところであつたので、あります。

濱田…11月1日の防災訓練が中止になりました。大雨の為に中止になりました。雨天の訓練も必要なものになります。町長…あの状況で実施して、何かがをしたりすると、行政はなぜあいつた状況の中で避難訓練をしたのかとの論調になります。

濱田…勉強、スポーツ、芸術、音楽等なんでもいいので、本の名前を高めてくれる人材輩出する必要があると思いますがどうでしょうか？

教育長…全くその通りだと思います。子どもが持つてゐる力を伸ばしていくのは大事なことです。

一般質問

(町長) 今回の質問を受けて、
否定するものではありませんが、その財源を一般会計から捻り出るのはいかがなものかと思います。寄附していきたお金の中から出すのが本だと思いませんがいかないかが本だと思いませんが、どうか?

(問) 返礼品をすることは私でもあります。受け取る側の町として、この状況をどう考えますか。

(町長) 少し本来の趣旨から逸脱したような状況が出てきて、いふと認識しています。

12月議会一般質問



寺町 忠



1万円以上の寄付をおいたい
た皆様に串本町特産品の中から
1点を贈呈いたします。
串本町特産品PRを目的として
いることから、串本町内在住者
の方は対象になりませんのでご了承下さい。5,000円相当の品

どういったシステムにするのかまだ決定しておりませんが、例えれば寄附金をいつたん基金にお金に積んで、そこから返礼品の一考え方です。

(問) ふるさと納税は本当にいい制度なんですか、納税者へいの返礼品が過熱化していますこれが真的在り方か危惧します。

(町長) 今回の質問を受けた後、改めて正職員の補佐に専念して頑張っておられます。それを見合った報酬を出すべきだと思いますが、改めてこの環境づくりも必要です。財政状況も見ながら今後のベスアップをどういうふうに思っています。

再認識すべき。
→ 17

(二) 臨時職員の賃金について
（問）以前から臨時職員の賃金は低いと思っていました。臨時職員とはいえ一生懸命町のためにはいいと思います。役場の中できめに正職員の補佐に専念して頑張つておられます。それを見合った報酬を出すべきだと思いますが、改めてこの状況をどう思いますか?



水口 崇

Education change the world. Education first. Education change the kushimoto. Education first.

③ 公共施設

④ 防災関係について

⑤ 避難シェルターについて

⑥ 避難タワーについて

⑦ 超危機的な串本の教育現場

⑧ 小中学校の基礎学力が重要

⑨ 全国学力・學習状況調査の結果

⑩ 和歌山県国語A最下位、串本はその県の平均点よりさらに下県知事は「超危機的な状態」である串本は「超危機的な状態」であるこの現状は、「全て私達の責任です。知事も西下教育長も「全て私の責任」と答弁している。

現状、生きていくために重要な小中学校の基礎学力が付かず、子供達が社会に出て必要とするべきが、貧困化器では火が消えない逃げ出しが起きている。田嶋町が取り組むのか?答弁無し。

（問）防災対策については、必ず教員が経済格差を生み、教育格差が経済格差を生み、貧困化の連鎖を生んでしまう。教育の大切さを串本町は認識すべき。貧困に陥らない、貧困からの脱出は教育である。ノーベル平和賞を受賞したマララさんの言葉を再認識すべき。
（町長）串本町だけが、県の指示を無視し知事選の掲示板の撤去をしなかつた。職員の認識不足で日曜日に選舉の提出書類が受け取りをしなかつた。開立会人に書類の送付を忘れて投票が入札をされ採用されている評価を導入すべきである。勤務



一般質問

児童公園・都市公園の整備と課題

佐藤 武治

近年子供達の体力低下が見られ、その原因としてスポーツ離れ、家中でゲーム等をして外で遊ぶ事が少なくなつた。又、習い事等多忙になつた。自然が減つた事による遊びの減少、経済の発展で生活が便利になつたり生活様式が変化する等が一因と言われます。昔と違い生活環境が大きく変わり、子供達の遊び場や自然遊び場や空き地や生活道路を奪う事で遊び場が少ないのが現実であります。その中に公園は子供達の遊び場や自ら性を育てる重要な役割を果たしています。町の条例で十二カ所ある公園の整備と課題を九月議会で質問いたしました。八月に各地の公園の状況を見回った時、草が生い茂りたがるのが多くが都市型の公園を望んでいると感じた。公園を併設し、そのゾーンで公園も併設していくといふ町の考え方を答弁頂きました。

（答）南海トラフ巨大地震では、田並地区避難タワーは、ステージまで浸水する想定となつていて、避難タワーの高さは、多額の費用が伴う為、改良については困難と判断し救助艇設置を検討、調査を行なったが、面積、重量の問題で断念し、津波避難シェルター（安全確認済）を田並避難タワーに設置。串本、西向、原地区うな公園を望んでいると感じた。高台移転・高台造成を進める中で教育ゾーンをつくり、統合小学校建設、あわせて認定こども園を併設し、そのゾーンに公園も併設していくことを新たに公園も併設していくことをの町の考え方を答弁頂きました。早期実現に協力したいと思

（答）①避難シェルターは、高台移転・施設整備等の計画を尋ねます。新町建設計画では、災害時に迅速・有効的に活動できるよう避難タワー四基の改良等と、避難シェルターを避難困難地域から要望があれば、設置予定があるのか尋ねます。

（答）②避難タワーについて、防災対策では、災害時に町民の命と財産を守るために避難高台移転は、役場・駅舎・認定こども園・串本の統合小学校の移転の必要性あり。津波浸水・十ヶ所の防団屯所について、一分團中六ヶ所所有り、今後適当な用地があれば、地元分团と十分協議しながら進めていきたい。

（答）③公共施設について、将来駅裏開発に伴い、保育所・小学校・体育館・武道館等の公共施設と各消防分団の屯所を災害時に迅速・有効的に活動できるよう避難タワー四基の改良等と、避難シェルターを避難困難地域から要望があれば、設置予定があるのか尋ねます。

（答）④防災撲滅点としては、町内六ヵ所計画。避難場所については、全体で二百三十七カ所、指定避難場所は四十八カ所、備蓄品は県の被害想定が発表された際、町の備蓄品を見直す必要有り。



長崎 守

（答）⑤防災拠点としては、町内六ヵ所計画。避難場所については、全体で二百三十七カ所、指定避難場所は四十八カ所、備蓄品は、



他に、避難行動要支援者対策、地域（消防署・警察署）との合同避難訓練、環境整備等（無人駅のトイレ、周辺整備）について尋ねる。

一般質問

◎安心安全な海水浴場の取組みについて。

〔質問〕監視員の業務内容について。

〔答弁〕警備会社の監視員が管理区域内を巡回して、事故防止のため監視及び警告指導を行います。業務遂行に当たりAEDを設置しています。

〔質問〕お客様に喜んでいたただくための海岸整備についても質問をしました。

◎学力向上だけに惑わされない教育について。

〔質問〕個々に持っている能力を伸ばし育てる教育と人材の育成について。

〔答弁〕生きる力ということで、知・徳・体のバランスのとれた教育を進めています。基礎・基本をしっかりと教え、子どもたちの力をつけるためには学級集団づくりが非常に

に建てられるよう一層の努力をしていきたいという事で、今は、詰めの段階に入っています。

◎地域の体力づくりについて。

〔質問〕町が取組んでいる体力づくりについて質問し、町独自のラジオ体操実現についても質問をしました。

◎バイオマスエネルギー実現について。

〔質問〕私達紀南地方は、森林に囲まれ林業産業の衰退と共に町の産業も変わってしましました。自然環境の維持管理、町の産業おこし活性化のためのバイオマスエネルギー実現の取組みについて質問をしました。

◎庁用バスについて。

〔質問〕火災時における消火栓の利用について。

〔質問〕串本町並びに関係するイベント・行事について。

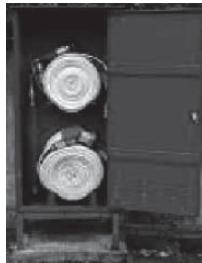
〔質問〕今回の一般質問の町長の答弁

私は一貫して福祉行政に関心を持ち続け、特に将来ある子どもたちのために未就学園前発達支援が必要とする療養施設の建設を議会で訴えてまいりました。

いかほ福祉会理事長、通園くじら園長にお会いし、また御父兄の皆様方ともお会いし、私も現状を見るに至り、本当に一日も早く串本町において建てるといった方がいいと思います。それらについていろいろな考え方も示されますが、通園くじら園長にとおかれました。私たちも頂きました。早くこういった施設が串本町



沼谷 美次



◎働く喜びのある町づくり「観光について」

〔九月議会一般質問事項〕

串本町のまちづくり三ヵ年計画協力頂きましてアシケートした皆様と「観光」の部分を連動しながら町当局を質しました。

〔アンケート実施は、今後も続けるべきだと思いますのでよろしくお願いします。〕

①望楼の芝生の有効活用と整備

②自然保護と観光PRを

③観光客にやさしい心くばり

④観光と地場産業と串本色豊かな商品開発への援助

総括

以上のような項目を掲げ質問した結果、町当局より「今後努力、検討していく旨の回答を得ました。」

〔十二月議会一般質問事項〕

「道路の維持管理について」

①道路維持の強化と維持方法の改善

◎高台移転について。

〔公共施設の高台移転について〕

○(1)公共施設を高台に移転する構想について

○(2)公共交通機関の運行順位

○(3)移転場所(高台)の選択について

○(4)子ども園高台移転の要望への対応

○(5)移転場所(高台)の選択について

○(6)測候所跡地

以上のような項目を掲げ質問した結果、合併特例債(旧串本と旧古座と合併した時の準備金)期限切れとなる平成三十二年までに、高速道路事業の進捗に伴い、岡を開拓でこども園も含め、串本学校→厅舎の順で取組む答があり、それでは工事に不安定な部分が多くなることを指摘し、高台移転に取組む答を得ました。

○(7)高台等の測候所跡地出雲小西第の答を得ました。

○(8)北島の測候所跡地出雲小西第の答を得ました。

一般質問

◎安心安全な海水浴場の取組みについて。

〔質問〕監視員の業務内容について。

〔答弁〕警備会社の監視員が管理区域内を巡回して、事故防止のため監視及び警告指導を行います。業務遂行に当たりAEDを設置しています。

〔質問〕お客様に喜んでいたただくための海岸整備についても質問をしました。

◎学力向上だけに惑わされない教育について。

〔質問〕個々に持っている能力を伸ばし育てる教育と人材の育成について。

〔答弁〕生きる力ということで、知・徳・体のバランスのとれた教育を進めています。基礎・基本をしっかりと教え、子どもたちの力をつけるためには学級集団づくりが非常に

に建てられるよう一層の努力をしていきたいという事で、今は、詰めの段階に入っています。

◎地域の体力づくりについて。

〔質問〕町が取組んでいる体力づくりについて質問し、町独自のラジオ体操実現についても質問をしました。

〔質問〕町が取組んでいる体力づくりについて質問し、町独自のラジオ体操実現についても質問をしました。

〔質問〕私達紀南地方は、森林に囲まれ林業産業の衰退と共に町の産業も変わってしましました。自然環境の維持管理、町の産業おこし活性化のためのバイオマスエネルギー実現の取組みについて質問をしました。

〔質問〕古座川町の同意得難い。

▽岡山県真庭市・バーミヤン建設不可。古座川町当局間の努力を求める。

〔質問〕森林資源と事業開発

▽岡山県真庭市・バーミヤン建設不可。古座川町当局間の努力を求める。

〔質問〕火葬場対策

▽大島地区建設不可。古座川町当局間の努力を求める。

〔質問〕防犯灯の設置費・修繕費・電気料金について。

〔質問〕LEDの防犯灯の取組みについて

〔質問〕このからの主流はLEDであるという考え方で、財政的な問題も考えながら考えていきたい。



橋爪 和雄



川勝 昇

*資源を活用事業を興す。
□バイオマス事業は困難。
▽全国学力テストの結果を活用し、地域の旧学校施設等に取り組む場を創造しては。共に学ぶ地域づくりに協力願いたい。
▽学習ムードの向上に良策と
所は地域の協力を得て整備促進。
○河川堆積土砂撤去、河川工事の推進、急傾斜42.6ヶ所急傾斜補強、消防屯所整備促進を要請。
△町内26河川の要注意32ヶ所の再点検、橋りょう15M以上39ヶ所の修繕促進。消防分団屯所は地域の協力を得て整備促進。
○古座川町の同意得難い。
▽大島地区建設不可。古座川町当局間の努力を求める。
△岡山県真庭市・バーミヤン建設不可。古座川町当局間の努力を求める。
○火葬場対策
▽大島地区建設不可。古座川町当局間の努力を求める。
○防犯灯の設置費・修繕費・電気料金について。
○LEDの防犯灯の取組みについて

□財政計画において、巨額の事業を添えて報告すべきである。議会決定主義の尊重は当然。
〔質問〕事業内容は示します。
〔質問〕教学校ムードの向上に良策と協力願いたい。

○(早速事業内容提出)
稻村台地整備

▽昭和43年以降町が推進した開発構想と地権者協力の約束た等責任を認識して、ラムサル公園(公認クラシックゴルフ)整備等創造事業を急速に推進された。創造事業は地権者の協力で順調に進んでいる。3ヶ月で完成を目指し努力された。農道整備事業は地権者の協力で完成を目指し努力された。教学校ムードの向上に良策と協力願いたい。

〔質問〕財政計画

□財政計画において、巨額の事業を添えて報告すべきである。議会決定主義の尊重は当然。
〔質問〕事業内容は示します。
〔質問〕教学校ムードの向上に良策と協力願いたい。

○(早速事業内容提出)
稻村台地整備

▽昭和43年以降町が推進した開発構想と地権者協力の約束た等責任を認識して、ラムサル公園(公認クラシックゴルフ)整備等創造事業を急速に推進された。創造事業は地権者の協力で順調に進んでいる。3ヶ月で完成を目指し努力された。農道整備事業は地権者の協力で完成を目指し努力された。教学校ムードの向上に良策と協力願いたい。

〔質問〕森林資源

森林資源	83,480ha
○(1) 紀南地区	11,350ha
○(2) 串本町	うち人工林
○(3) 紀南地区	47,394ha
○(4) 串本町	5,045ha
○(5) 南紀森組	合年間搬出量 5,000 m ³

委員会報告

決算審査特別委員会報告

決算審査特別委員会は、平成26年第3回定例会で委員8名で設置、平成25年度串本町決算認定19件の審査の外、書類審査の権限を委任付託されました。

委員会は10月9日から24までの内5日間開催

○代表監査委員に決算監査の報告を受け、「滞納への対応」、「国保会計の赤字解消」、「串本病院・水道事業の経営改善」等について質疑を行い、続いて全会計について担当課長等の出席と関係資料の提出を求め審査を行い、特に問題点が指摘された次の項目について、10月17日町長への質疑を行いました。

- 財産に関する調査の正確な整備
- 国保事業住民説明会と対応方
- 国体実施と串本のアピール対策

- 各種団体への補助金の適正な執行方
- 病院・水道事業の累積赤字の対処

質疑終了後採決を行い、全会計の決算は全員一致で認定と決しました。

委員長 川勝 昇、副委員長 橋爪和雄、佐藤武治、寺町 忠、沼谷美次、芝山定史、仲江孝丸、長脊 守

平成26年度 委員長・副委員長研修

日 時 平成26年11月21日(金)

場 所 和歌山県自治会館

演 題 「委員会運営と町村議会を取り巻く諸情勢」

講 師 全国町村議会議長会

議事調査部長 三宅達也 氏

I.議会の役割 II.委員会の種類 III.委員会の権限

議会における諸問題については全国他町村の例をあげて説明をしていただきました。

参加者 寺町・水口・橋爪・川勝・沼谷・芝山



公職選挙法による禁止事項

虚礼廃止にご理解・ご協力を!!
串本町議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。



①. 政治家の寄付（寄贈）行為の禁止

政治家（候補者、候補者となるとするものも及び現に公職にある者）は、選挙区内にある者に対して寄付をすると処罰せられます。

冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事における寄付行為は禁止されています。
(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)



②. 政治家に対する寄付の勧説・要求の禁止

有権者が、脅迫（おどす）してあるいは政治家を陥れる（だます）目的で寄付を求めるとき罰せられます。



③. 後援団体の寄付の禁止

後援団体が、選挙区内のある者に対して、花輪・香典・祝儀などを出すと処罰されます。

④. 年賀状等のあいさつ状の禁止

政治家は、選挙区内のある者に対して、年賀状等あいさつ状を出すことは禁止されています。

*ただし、答札のための自筆によるものは禁止されていません。

⑤. あいさつを目的とする有料広告の禁止

政治家や後援会が、選挙区内にある者に対して、有料のあいさつ広告を出すと処罰されます。

公民権の停止 上記①.②.③.⑤.によって処罰されると公民権停止となります。

委員会報告

議会運営委員会 視察報告

平成26年10月5日(日)から10月7日(火)まで、2泊3日の日程で神奈川県大磯町、開成町への視察研修を行った。

10月6日午前10時 大磯町役場を訪問、議会改革と議会の活性化について研修。
大磯町議会では、議会基本条例の制定、議会報告会、一般質問の質問時間の通告制、一般会議の開催等議会改革への取り組みがよく理解できた。

また、議員の半数以上が女性議員で、そのことが議会の活性化につながっていると話されていた。

もともと住民の行政に対する意識の高い町だったようだが、女性議長の誕生によりますます高まったようで、やはり女性の力は大きいのか…?とつくづく思った。

11時30分 研修終了。



お忙しい中、奥津勝子 議長・吉川重雄 議会運営委員長・清水弘子 福祉文教常任委員会委員・二宮加寿子 総務建設常任委員会委員から説明を受けました。

同日、13時45分 開成町役場を訪問、議会の活性化と開かれた議会運営について研修。
開成町議会では、議会基本条例の制定、通年議会、町長の逆質問権と一般質問の答弁骨子、議会報告会、日曜議会の開催と、ここでも積極的に議会の活性化と開かれた議会運営に取り組んでいることを痛感させられた。

15時20分 研修終了。



お忙しい中、小林哲雄議長・井上宜久副議長から説明を受けました。



今回の研修に参加して、議会改革・議会の活性化について、議員一人ひとり町民の対場に立って、小さなことにも目を向けて真剣に取り組まなければならないと感じた。
また、女性議員が入ることで、議会全体の意識が変わってくるということが伝わってきた。
この研修で得たことを今後に活かして、一つずつできることから改革していくべきだと思った。

議会運営委員長 寺町 忠

委員会報告

総務産業建設常任委員会報告

○平成26年8月7日(木)午後1時30分～

- ・自然公園の変更について・固定資産税の課税誤りについて・その他

永年、要望活動を続けてきた潮岬・出雲台地の第3種特別地域の規制緩和について、防災・減災対策として住宅の高台移転を推進するため規制緩和(平成27年度予定)がされることとなった。



○平成26年9月4日(木)午前10時00分～

- ・地域防災計画について・前地町営住宅の進捗状況について・その他
- 現行の地域防災計画は、平成21年に策定されており、今回の見直しについては、東日本大震災の災害訓練やその後の災害対策基本法等の法令の改正及び防災基本計画、和歌山県地域防災計画等の改正等を踏まえて修正を行った。

○平成26年9月17日(水)午後3時30分～

- ・道の駅「くしもと橋杭岩」の状況について・その他

地場産品の掘り起こしと、道の駅での地場産品の販売について指定管理業者と意見交換を行う(今回で2回目)。さらに設置目的に応じた運営に努めることを確認する。

○平成26年11月19日(水)午前10時00分～

- ・橋梁修繕事業について・人勘に伴う職員の給与改正について・その他

○平成26年12月12日(金)午前9時30分～

- ・農協改革に関する意見書の提出を求める陳情について

「農協改革」に関する意見書の提出を求める陳情について、関係機関から陳情内容について説明を聴取し、審査の結果、趣旨妥当と認め意見書提出を行うことに決した。

文教厚生常任委員会

平成26年8月28日(木)午前10時～

- 1) 子ども子育て三法に係る条例の制定について
- 2) 給食センター建設について
- 3) 田並ごみ焼却場解体工事、仮設中間処理施設建設工事の仮契約及び田並区との協定書について



平成26年9月10日(水)本会議終了後

- 1) 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める要望書について



平成26年11月7日(金)午前9時30分～

- 1) 国保税の見直しについて

平成26年11月27日(木)午前9時30分～

- 1) 児童発達支援事業所の開設について
- 2) 新型インフルエンザ等対策行動計画について
- 3) 給食センターについて



平成26年12月11日(木)本会議終了後

- 1) くしもと病院の医療体制について
- 2) 住民課所管業務について

委員会報告

東牟婁郡町村議会議員研修会

平成26年度 東牟婁郡町村議会 議員研修会



平成26年10月24日(金)10:00～12:00

場所:那智勝浦町「ホテル浦島 日昇館」

講演:「人口減少時代の地域づくりと地域経営」

講師:辻 琢也 氏(一橋大学大学院教授)

<講演内容>

最近全国的にも問題となっている人口減少をテーマに、人口減少から発生する地方の過疎化、単独世帯、高齢化世帯の増加により起こりうる様々な問題にも色々な種別があり、人口減少も様々な事項が起因となる事を学ぶ。

又、人口減少にもうまく対応している地域がありその事例対応策等を学ぶ。

<凡例都市>

1.青森県八戸市圏域

2.シュテンダル市(ドイツ)



<出席者状況>

串本町議会議員(12名)

梅野光児、漆畠繁生、濱田勝裕、

鈴木幸夫、佐藤武治、長脊 守、

寺町 忠、水口 崇、橋爪和雄、川勝 昇、沼谷美次、芝山定史

庁舎建設特別委員会

本委員会は平成25年12月定例会で議長を除く13名の委員により設置されました。庁舎建設に限定されており高速道路との関連もあり、設置以来委員会も開くことが出来ませんでした。

平成26年12月定例会開会中に委員会を開き、当局の経過説明を受け、今後は総合的な開発も考慮し、議会運営委員会でも協議していただき、本委員会を発展的に解消し、庁舎建設特別委員会も含む新たな、串本町総合開発特別委員会を設置することとなりました。

串本町総合開発特別委員会設置

12月19日議会において、こども園、小学校、役場庁舎等、高台移転構想に伴う、西の岡造成計画等に取り組むため、従来の庁舎建設特別委員会を発展的に解消し、新たに議長以外の13名で特別委員会を設けました。

委員長 川勝 昇

副委員長 芝山定史



議会の動き 26年8月～27年1月

《本会議》

- ・ 9月10日～19日 第3回定例会
- ・ 12月10日～19日 第4回定例会

《臨時会》

- ・ 8月 7日 第3回臨時会

《委員会》

【議会運営委員会】

- ・ 8月 4日 第3回臨時会の運営について
- ・ 9月 2日 第3回定例会の運営について
- ・ 12月 3日 第4回定例会の運営について
- ・ 12月 16日 議会放映、特別委員会について

【全員協議会】

- ・ 9月 11日 トルコ共和国訪問について
- ・ 12月 11日 国保税の見直しについて

《議員研修》

- ・ 8月 8日 町村議会議長会
全議員研修会（かつらぎ町）
- ・ 10月 24日 東牟婁郡町村議会
議員研修会（那智勝浦町）
- ・ 11月 21日 委員長・副委員長
研修会（和歌山市）

【常任委員会】

- ・ 8月 7日 総務産業建設常任委員会
- ・ 8月 28日 文教厚生常任委員会
- ・ 9月 4日 総務産業建設常任委員会
- ・ 9月 10日 文教厚生常任委員会
- ・ 9月 17日 総務産業建設常任委員会

・ 11月 7日

・ 11月 19日

・ 11月 27日

・ 12月 11日

・ 12月 12日

・ 1月 23日

【特別委員会】

- ・ 8月 7日 議会広報特別委員会
- ・ 10月 9日 決算審査報特別委員会
- ・ 10月 10日 決算審査報特別委員会
- ・ 10月 15日 決算審査報特別委員会
- ・ 10月 16日 決算審査報特別委員会
- ・ 10月 17日 決算審査報特別委員会
- ・ 12月 10日 庁舎建設特別委員会
- ・ 12月 19日 議会広報特別委員会
- ・ 1月 21日 議会広報特別委員会



議長 公務日誌 (主なもの) (H26年8月～27年1月) 梅野議長

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
1日	近畿自動車道紀勢線促進協議会要望（東京）				5日	東牟婁郡町村議会議長会臨時会（那智勝浦町）
6日	東牟婁郡町村議会議長会臨時総会（那智勝浦町）				7日	グランドゴルフ交歓大会（サンナンタン）
18日	水産振興会総会（和歌山東漁協）				14日	第38回串本警察署少年剣道大会（串中体育館）
26日	国道371号改良促進委員会総会、要望（県庁）				3日	成人式（ロイヤルホテル）
27日	第10回串本まつり花火大会	4日	日・ト国交90周年記念コンサート（東京）		11日	消防出初式（文化センター）
		16日	エルトウールル号追悼式典（梗野崎慰靈碑）		31日	本州最南端の火祭り（潮岬）
		28日	トルコ共和国訪問（～10月3日）			
		17日	管内警察消防連絡協議会総会（文化センター）			
10月		22日	土地開発公社理事会（本庁舎）			
		31日	近畿自動車道紀勢線促進協議会要望（東京）			
		2日	第10回串本町民大運動会（サンナンタン）			
11月		9日	火災予防パレード			
		12日	町村議会議長会全国大会（東京）			
		15日	古座地区戦没者慰霊祭（善照寺）			
		16日	ふれあいいきいまつり（文化センター）			
		25日	新宮周辺広域市町村圏事務組合議会（新宮市）			

- このメンバーや議会広報を作成するのも最後となりました。原稿にもしマイアットにも個性がありタイトに毎に制作議員の個性がじみ出ています、当局任せにせず議会独自制作の議会広報が有るべきだとの考え方から役割分担をした結果です。



女性消防団員を先頭に分列行進

議会広報編集委員会



このメンバーで議会広報を作成するのも最後となりました。原稿にもしマイアットにも個性がありタイトに毎に制作議員の個性がじみ出ています、当局任せにせず議会独自制作の議会広報が有るべきだとの考え方から役割分担をした結果です。

編
集
後
記